



## 全国学力・学習状況調査(3年生)の結果より

先日、新聞等で報道されましたように、3年生を対象に今年4月に実施された、全国学力・学習状況調査の結果が出されました。

本校は、三重県・全国平均を上回っており、十分に満足できる結果であったと言えます。

以下に、分析と今後の方策をお知らせいたします。

### 1 学力調査からみられる自校児童・生徒の特徴(強みと弱み)

#### 【国語】

「話すこと・聞くこと」では高い数値となっているが、「読むこと」では低くなっている。一方、平均正答率をみるとほとんどの項目において、県平均、全国平均を上回っている。特に「話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える」「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」については、県・全国平均ともに20%以上高い数値になっている。

真面目な生徒が多く他の意見をきちんと聞き、自分なりの意見を持つことができるが、文章の内容を読み取り、ものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ力が弱いようである。また、敬語になれていない生徒が多くいる。普段の会話の中で敬語の使い方に慣れさせるようにする。

#### 【数学】

無回答が少なく、すべての分野において平均を上回った。無回答率4.5%は、本校においては1名であり、全体的に見て、授業に前向きに取り組める生徒が多い。この点が本校の強みと考える。無回答の生徒についても、意欲がない＝無回答というのではなく、考えた末に「何を書いたらいいのか分からなかった」と思われる。

また、「〇〇を説明する」といったような問題は苦手な生徒が多く、この点が本校の弱みである。日々の授業において、問題を解くだけでなく、「なぜそう考えたのか」を説明する活動を取り入れ、力を伸ばしていきたい。

### 2 児童・生徒質問紙からみられる特徴(学習、生活の状況に関して)

高い数値を示した項目は、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「学校へ行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」などであった。これらのことから分かるように、目標に向かって努力できる生徒が多い。また、集団や地域、社会に対してよりよくするためにはどうすればよいかと考えられる学年である。

しかし、自分のことになると「自分にはよい所があると思う」「将来の夢や目標を持っている」などの項目の数値は県・全国平均より少し低く、自分に自信がなかったり、将来の進路に不安を感じたりしているように思われる。

学校生活においては、ICT機器に関する項目の数値が県・全国平均よりはるかに高く、昨年度より導入された一人1台タブレットを授業に取り入れた結果だと考えられる。

国語の学習では、「国語の勉強は好き」「国語は、社会に出たときに役に立つと思う」といった項目の数値が高い。

しかし、「授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする」項目の数値が平均よりやや低く、自分の考えを伝えることは苦手な生徒が多い。

数学の学習では、「数学の勉強は好き」「学習したことを、普段の生活に活用できないかを考える」「問題の解き方や考え方を分かるようにノートに書いている」といった項目が高い。これは、日頃の授業の中で、多くはないが説明する活動を取り入れた結果だと思う。

しかし、「分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考える」項目は低く、この学年の課題である。

英語の学習では、「英語の勉強は好き」「英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができた」といった項目の数値が高い。これも、日頃の授業内での取り組みからきていると考える。

### 3 学校質問紙からみた学校の特徴(県や全国との比較)

本校は小規模校であり職員は全学年の授業を受け持っているため、すべての職員が全校生徒を把握しており、連携した取り組みが行いやすい。そのため、「教員研修・教職員の取り組み」については県・全国と比較して高い数値を示しており、「学力向上に向けた取り組み・指導方法」「家庭学習に対する指導」などの項目についても高い数値を示している。

昨年度より導入された一人1台タブレットを授業に取り入れたことにより、調べ学習等ICT機器を活用した取り組みは、全国平均と比較しても高い数値になっている。

授業の指導に関しては、ほとんどが全国平均に近いが、国語「発展的な学習の指導」、数学「実生活における事象との関連を図った授業」の項目では、特に数値がより高くなっている。

### 4 本調査問題の趣旨等を踏まえた授業改善(自校調査結果の分析から強みを伸ばし、弱みを改善する等)、家庭学習や補充学習等としての具体的な取り組み

#### ア) 授業改善について

すべての教科において、1時間のめあてを設定して、授業の最後にまとめの時間をとっている。また、振り返りシートの内容を各教科工夫し、生徒の気づきや発展した考え方を、その後の授業に取り入れている。

今後は、振り返りシートでは書いているものの、発表したり自分の言葉で相手に伝えることが苦手な生徒が多いため、授業内で説明したり活動を取り入れていきたい。

職員の研修においては、今後も問題解決能力を向上させる授業づくりを各教科で取り組みを進め、校内研修として相互参観という形をとり、問題解決能力を向上させる授業への理解を深め、授業力の向上に努めていく。

#### イ) 家庭学習の定着・工夫について

家庭学習の習慣がつくように、各教科で定期的に宿題を出し、授業で確認することを継続している。学習習慣の定着を図るため、定期試験前にまとめて課題を与えるのではなく、こまめに宿題を出すことを心がけている。

特に第3学年では、帰りの会の時間を用い、3つのレベルから自分で選んだ問題集を用いてあらかじめ作った計画表をもとに中学校3年間の基本の復習ができるように進めている。

また、教科によっては、毎回の漢字テスト、小テストなどを実施し、テストに向けて家庭学習がしやすく、理解の確認につなげている。

#### ウ) 補充学習等の充実について

定期テスト期間、及び長期休業中には質問日を設け、生徒の疑問が解決できる時間を保証している。また、長期休業中には、学力の不安な生徒を対象に宿題を一緒にする学習会を週1回程度行い、分からない問題をそのままにしないよう職員に質問の出来る状況の下で課題に取り組める日を設けている。

**塩中だより19号でもお知らせいたしましたが、オンライン学習期間中に、中体連本部から、本年度の新人大会を中止とする旨の連絡がありました。新チームとして初めての公式戦を楽しみにしていた1・2年生にとっては、大変残念な決定ですが、今の状況を見てみると、やむを得ないことだと思います。**

**10月1日(金)から部活動が再開します。今以上の積み上げをすべく、力をつけて、次の大会を目指していきましょう!**

**また、9月30日(木)に予定していました体育祭を10月14日(木)に、10月29日(金)に予定していました文化祭を11月12日(金)に延期いたします。**

**今後も状況によっては、予定の変更をいたします。その場合はその都度連絡させていただきます。**

**さて、オンライン学習いかがでしたか?初めての経験なので、戸惑ったことも多かったと思います。あなたたち自身の「学び」に向かう強い姿勢がさらに求められる、新しい学びのスタイルとして、今後もあろうかと思えます。**

**「学ぶ」のはあなたたち自身です。オンライン学習で分からなかった点、もう一度先生に聞きたい点等、どんどん質問してください。**

